

製品名: CD36 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08378**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、ティラピア
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	CD36
別名	CD36; GP3B; GP4; Platelet glycoprotein 4; Fatty acid translocase; FAT; Glycoprotein IIIb; GPIIIB; Leukocyte differentiation antigen CD36; PAS IV; PAS-4; Platelet collagen receptor; Platelet glycoprotein IV; GPIV; Thrombospondin receptor; CD36
遺伝子 ID	948.0
SwissProt ID	P16671
免疫原	抗血清はヒト CD36 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 331-380

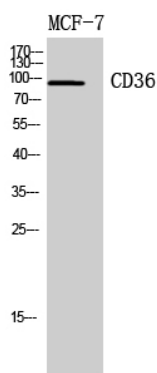
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血小板表面の4番目の主要糖タンパク質であり、血小板および様々な細胞株においてトロンボスポンジンの受容体として機能します。トロンボスポンジンは様々な接着プロセスに関与する広く分布するタンパク質であるため、このタンパク質は細胞接着分子として重要な機能を持つ可能性があります。このタンパク質は、コラーゲン、トロンボスポンジン、陰イオン性リン脂質、および酸化 LDL に結合します。熱帯熱マラリア原虫 (*Plasmodium falciparum*) に寄生された赤血球の細胞接着を直接媒介し、長鎖脂肪酸に結合して、輸送および/または脂肪酸輸送の調節因子として機能する可能性があります。この遺伝子の変異は、血小板糖タンパク質欠乏症を引き起こします。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2014年2月]、疾患: CD36 の欠陥は、血小板糖タンパク質 IV 欠損症[MIM:608404]の原因です。CD36 欠損症としても知られています。血小板糖タンパク質 IV 欠損症は2つのサブグループに分けられます。I型表現型は、血小板および単球/マクロファージにおいて CD36 の完全な欠陥を特徴とします。II型表現型では、血小板における CD36 の表面発現は欠如していますが、単球/マクロファージにおける発現はほぼ正常です。、疾患: CD36 の遺伝的変異は、冠動脈性心疾患 7 型 (CHDS7) の感受性と関連しています[MIM:610938]。機能: 多くの潜在的な生理学的機能を有すると考えられます。コラーゲン、トロンボスポンジン、陰イオン性リン脂質、および酸化 LDL に結合します。細胞接着分子として機能する可能性があります。熱帯熱マラリア原虫 (*Plasmodium falciparum*) に寄生された赤血球の細胞接着を直接媒介します。長鎖脂肪酸に結合し、輸送および/または脂肪酸輸送の調節因子として機能する可能性があります。、オンライン情報: CD36 エントリ、多型: CD36 の遺伝的変異は、マラリア感染の重症度および転帰に影響を及ぼします。、PTM: N-グリコシル化と O-グリコシル化の比率は 2: 1 です。、類似性: CD36 ファミリーに属します。、

研究分野

PPAR;ECM-受容体相互作用;造血細胞系統;アディポサイトカイン;

画像データ



CD36 ポリクローナル抗体を用いた MCF7、4T1 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。